

事業報告書

Rika Kindergarten



【1. 事業運営の総括】

令和 7 年度は、学校法人鷺巣学園創立 50 周年という節目の年として、これまでの教育・保育実践を振り返りつつ、園児第一主義の理念のもと、安定した園運営に努めた一年であった。

大きな事故や重大な問題もなく、園運営が円滑に行えたことは、保護者並びに関係機関、地域の皆様の理解と協力、そして教職員一人ひとりの尽力によるものである。

【2. 教育・保育活動の実施状況】

(1) 「教育の梨花」を意識した教育活動

教職員の資質向上を図り、「学びに向かい合う力」の育成を重視した教育活動を実践した。

その結果、「学んだことを生かそうとする力」「生活に生きて働く知識・技能」「思考力・判断力・表現力」等のいわゆる「生きる力」の育成が図られ、一定の成果を得ることができた。

(2) 「できる子」を目標とした取り組み

一人ひとりの個性を尊重しつつ、「何ができるようになるか」を明確にした指導を行った。

逆上がり、縄跳び、運動課題、学習活動、音楽活動、英語ソング、手話ソング等を計画的に実施し、「できた」という成功体験を積み重ねることで、子どもたちの自信と意欲の向上につなげた。

(3) 作法教育の推進

「礼儀正しい子の育成」を目標に、作法教育を継続実施した。

返事や姿勢、おじぎ等の基本的な生活作法を日常保育の中で繰り返し指導し、社会性の基礎を身につける取り組みを行った。

(4) 心の教育と信頼関係づくり

教職員と園児との信頼関係を大切にし、子どもたちが安心して園生活を送れるよう、丁寧で温かな関わりを心がけた。

「ありがとう」「ごめんなさい」が自然に言えるよう指導し、思いやりの心を育てる教育を実践した。

(5) 行事の実施と見直し

行事については、子どもたちの成長を実感できる内容を重視し、目的を明確にした上で実施した。

行事運営の在り方を検証し、教職員の連携を深めながら、より良い行事づくりに取り組んだ。

(6) 特色ある教育活動の継続

作法教育、リトミック教育、マーチング教育については、質を維持しながら継続実施し、心身ともにたくましい子どもの育成に努めた。

右脳教育（イクウェルチャイルドアカデミー）についても継続実行し、定着に努めた。

【3. 給食・食育の取り組み】

自園給食棟完成に伴い、職員による衛生管理の徹底と配膳トレーニングを実施。
また、食育活動を通じて、食への関心や感謝の気持ちを育む取り組みを行った。

【4. 配慮を要する園児への支援】

療育が必要な園児に対して加配職員を配置し、一人ひとりの発達段階に応じたきめ細やかな支援を行った。
関係機関との連携を図りながら、安心して集団生活を送れる環境整備に努めた。

【5. 職員体制と研修】

職員の確保と定着を意識し、働きやすい職場環境づくりに取り組んだ。
また、資質向上を目的として各種研修に積極的に参加し、教育・保育の質の向上を図った。

【6. 総括】

令和7年度は、教育・保育活動の充実と安定した園運営の両立を図ることができた一年であった。
今後も引き続き、園児・保護者・地域から信頼される認定こども園を目指し、教育・保育の質の向上に努めていく。

令和8年5月2日

学校法人 鷺巣学園 梨花幼稚園
幼保連携型認定こども園
園長 高瀬 絹代